

2018年3月15日

北大・日立新概念コンピューティングコンテスト2017表彰式を開催。

(データ数理研究分野)

送付先：北海道教育庁記者クラブ

PRESS RELEASE 2018/3/8



下記のとおりお知らせしますので、[参加募集の案内・当日取材]をお願い申し上げます。

北大・日立新概念コンピューティングコンテスト2017表彰式を開催

～産学連携初、マラソン型プログラミングコンテストで新概念コンピューティングの開発を加速～

【趣旨】

国立大学法人北海道大学は株式会社日立製作所と共同で、産学連携初となる産学共同開催によるマラソン型*のプログラミングコンテストを2回開催しました。本コンテストでは、学生から社会人までの幅広い応募者から300件以上の解答が寄せられました。コンテスト開催中はランキングが時々刻々と入れ替わるハイレベルな展開となり、従来方式に勝るアルゴリズム（計算方法）が考案されました。

大量の情報が飛び交う一方で、混迷の度が増す現代において、社会システムに内在する社会課題を早急に的確に捉えて解くことが求められています。この要請に応えるべく、北海道大学は日立製作所との異分野連携と学生との協創の下、新概念コンピューティングの研究開発を進めています。

新概念コンピューティングはこれまでの計算原理と異なり、問題を物理現象に見立てることで、問題の因子を網羅的に把握できます。北海道大学は、日立製作所が開発したイジングコンピューティングと呼ばれる技術の優位性に着目して、その応用研究を推進しています。

イジングコンピューティングを実現するには、実社会の複雑で不規則なグラフ構造を、コンピュータでも扱える単純で規則的なグラフ構造に変換する際に用いる、グラフ変換アルゴリズムの効率化が課題です。さらに、この課題を解決するためのアプローチには様々なものがあるため、どのアプローチが優れているかの評価方法を確立することも課題でした。本コンテストは、学内外の英知を結集してこれらの課題を解決すべく実施しました。

